

幸手市立東中学校

救命救急体験



2年

特色

2年生の生徒を対象に、幸手消防署の皆様にご協力いただきながら「救命救急講習会」を行っている。

AEDの使い方など、人命救助に必要なスキルを身につけるため教育課程に位置づけている。

生徒の感想

AEDが届くまでに、傷病者の反応や呼吸を見たり、胸骨圧迫や人工呼吸などを行ったりと、やることが多いことや、実際に胸骨圧迫の体験してみても力があることなど大変さが分かりました。いざというとき、冷静にできるかどうか不安があるけど、落ち着いて行いたい。

成果

体験を通して、人命救助の際に必要なスキルを知るとともに、身につけることができた。

専門家の支援により、効果的な教育活動が展開できた。

体験的な活動を通して、生徒の主体的な活動につながるとともに、社会に関する興味・関心が高まり、課題意識が芽生えた。